

日立市

HITACHI City

■概要／人口：175,635人

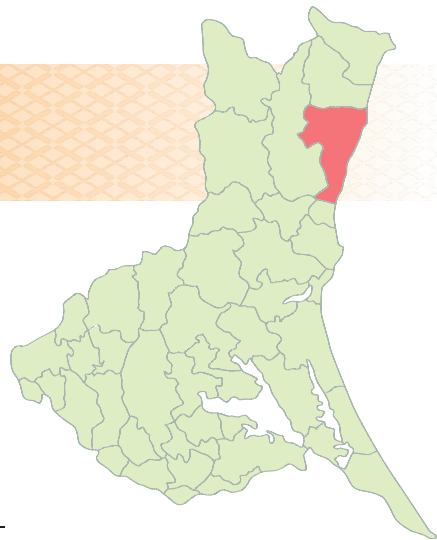
年間観光入込客数：3,028,000人

■由来／水戸藩第2代藩主徳川光圀公が日立地方を訪れ、海から昇る朝日の美しさに「日の立ち昇るところ領内」と称えたという故事に由来するといわれています。

■市の花／さくら 木／ケヤキ
鳥／ウミウ 魚／さくらダコ



かみね動物園シンボルキャラクター
「かみねっちょ」



多賀山地の山と太平洋と、豊かな自然に囲まれた日立市は、県北地域の拠点都市として発展を遂げてきました。海岸線には伊師浜、川尻、会瀬、河原子、水木、久慈浜と、それぞれ趣が異なる海水浴場があります。特に、伊師浜海岸の断崖には日本で唯一のウミウの捕獲場があり、隣接する国民宿舎「鵜の岬」は、展望温泉風呂とサービスの良さで人気の宿です。日立鉱山と日立製作所が工業都市としての形を築きました。それら産業の発展の歴史は、日立記念館や小平記念館などの文化施設で、知ることができます。

観光カレンダー

4月上旬	日立さくらまつり
5月中旬	ひたち国際大道芸
7月下旬	日立港まつり
10月上旬	ひたち秋祭り郷土芸能大祭
11月中旬～1月中旬	Hitachi Starlight Illumination

日立さくらまつり

50年以上続く歴史あるお祭り。期間中は平和通りの桜並木をライトアップ、そしてかみね公園と十王パノラマ公園では提灯や行灯により風情あるライトアップが実施されます。平和通りとかみね公園のさくらは日本さくら名所100選にも選ばれています。そして、最大の特徴は、山車として国内ではじめて国の重要有形・無形民俗文化財と重要無形文化財に指定された日立風流物。可動、変形する大きな山車とその上で行われる操り人形（からくり人形）芝居で、平成21年と平成28年にはユネスコ無形文化遺産に指定されました。



イベント



日本さくら名所100選にも選出

日立市の夜景

日立市では、自然の地形を生かした、さまざまな光が織りなす美しい夜景を楽しむことができます。令和元年9月には、「かみね公園」からの夜景が日本夜景遺産に認定。園内頂上にある2階建ての展望台からは360度の視界が開けています。その他にも、「助川山市民の森」からの夜景や「JR日立駅」、「日立LNG基地」など、多様な夜景を楽しむことができます。

スポット



夜空に浮かび工都のきらめき

ひたち国際大道芸

世界で活躍するアーティストが、超一流の技を披露する「笑い！感動！驚き！」の2日間！興奮のアクロバットや、ユーモアたっぷりのパントマイムやコメディ、いつもの街を変えるウォーキングアクトなど、多種多様なパフォーマンスで会場を盛り上げます。アーティストと観客が一体となる幻想的な空間を演出する夜の大道芸「夜会」にも注目です。

世界中の大道芸が日立へ

イベント



ひたち秋祭り郷土芸能大祭

日立シビックセンター前、夜の屋外ステージをメインに、全国各地の郷土民俗芸能の精粋が集い、日本の郷土芸能の素晴らしさを披露する一大イベントです。会場内で郷土芸能を体験できる時間もあります。

全国の郷土芸能が集結

イベント



日立シビックセンター

天球劇場（プラネタリウム）、遊んで学べる科学館、コンサートなどが楽しめる音楽ホール、図書館等、知的文化活動を満喫できる総合施設です。特に新世代のプラネタリウムシステムである「MEGASTAR-IIA (ES)」による天球劇場が必見です。肉眼で見ることができない、1,500万個の恒星まで投影し、星空に包まれる感動と宇宙の壮大さを楽しむことができます。

日立駅前のシンボル

スポット



日立駅

日立市出身の建築家・妹島和世氏がデザイン監修し、平成24年にグッドデザイン賞を受賞している日立駅。平成26年にはオランダで行われた鉄道業界唯一のデザイン・コンペティション「ブルネル・アワード」駅舎部門で優秀賞にも輝きました。また、駅直結の「シーバズカフェ」はまるで海に浮かんでいるかのような絶景スポットとして人気です。

最高のロケーション

スポット



海水浴場

日立市は、南北に長く変化に富んだ海岸を持ち、毎年海水浴場が開設されています。また、水質の良さ等から環境省の「快水浴場百選」に認定された海水浴場が「伊師浜海水浴場」「河原子海水浴場」「水木海水浴場」と3か所もあります。なかでも「伊師浜海水浴場」は「白砂青松百選」にも選ばれており、毎年多くの人で賑わいます。

快水浴場百選が3か所も

スポット



日立記念館

スポット



昭和60年に建設。経済産業省の近代化産業遺産にも認定されている。日立鉱山を開山した久原房之助氏の功績やJXグループの歴史のみならず、日立市の歩みも学ぶことができます。

小平記念館

スポット



日立製作所の創業者、小平浪平氏のモノづくりにかけた思い、足跡を辿ることができる記念館。2021年にリニューアルオープンする予定。小平浪平氏の偉業と共に、日立製作所の歩みを見ることができます。

奥日立きららの里

スポット



長さ日本一のすべり台「ワクワクスライダー」、ポニー・羊とのふれあい牧場、貸別荘タイプのケビンやキャンプ場でも宿泊ができる自然体験型の施設です。「ワクワクスライダー」は最高時速約30kmとスリル満点。

御岩神社

スポット



パワースポットとしても有名で県外から多くの人を訪れる神社。境内にそびえ立つ三本杉は、樹齢約600年で県指定の天然記念物です。「森の巨人たち百選」にも選ばれています。

久慈浜しらす

お土産



親潮と黒潮のぶつかる栄養豊かな海で育つ久慈浜シラスを、絶妙の塩加減で丁寧に仕上げられています。口当たりが滑らかで臭みがなく、ふんわりきめ細かな極上のしらす干しです。

ポポー

お土産



北米原産で秋に黄緑色の果実がなる樹木。市場に出回らないため「幻の果実」とも呼ばれています。日立市では、全国初となるポポーアイスクリームをはじめ、ワインなどの加工に成功しました。

県北エリア

県央エリア

鹿行エリア

県南エリア

県西エリア

常陸太田市

HITACHIOTA City

■概要／人口: **48,074人**

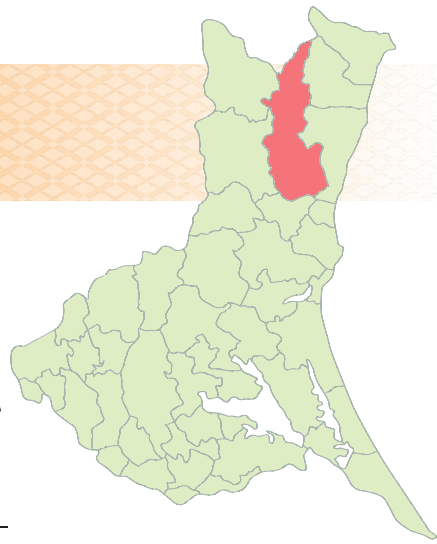
年間観光入込客数: **1,837,900人**

■由来／天仁2年(1109)に藤原通延が、下野国から太田郷に入り、太田大夫と称していたことからこの地区は太田と呼ばれるようになり、その名を取りました。しかし、群馬県太田市が先にあったため、「常陸」を付け、常陸太田市となりました。

■市の花／やまぶき 木／けやき 鳥／カワセミ



常陸太田市公式マスコットキャラクター
じょうづるさん



南北40kmと縦に長い市域を誇る常陸太田市は、山と緑に囲まれた穏やかな自然が自慢のまちです。観光スポットとしては、竜神大吊橋、徳川光圀公の隠居所となった西山御殿(西山荘)など年間を通じてたくさんの観光客が訪れます。又独特の気候と土壌の恵みである常陸秋そばは、香り、風味で全国的に知られ、そば通あこがれのブランドとなっています。また、ブドウ、梨などの栽培も行われ、人気の味覚となっています。

観光カレンダー

2月11日	嵐除祭
3月下旬	西金砂神社小祭礼・町田火消行列
4月下旬～5月中旬	竜神峡鯉のぼりまつり
10月下旬～11月下旬	里美かかし祭
11月中旬	常陸秋そばフェスティバル里山フェア

竜神大吊橋・竜神峡

竜神大吊橋は、歩行者専用としては日本最大級を誇り、橋の長さは375m、湖面からの高さは100mにもなります。現在、バンジージャンプを跳ぶことができ、県内外からたくさんの方達がチャレンジをしています。竜神峡は、奥久慈県立自然公園に位置し、四季折々の景色を楽しむことができます。



スポット

日本最大級を誇る歩行者専用吊橋

西山御殿(西山荘)



スポット

徳川ミュージアム所蔵 撮影 阿部浩
(C)徳川ミュージアム・イメージアーカイブ・DNPartcom

水戸藩第2代藩主徳川光圀公の隠居場所、ここで「大日本史編纂事業」が行われました。元禄4年(1691)5月9日から同13年12月6日に亡くなるまでの10年間を過ごしました。平成28年3月に国指定の史跡及び名勝に指定されました。

青蓮寺



スポット

病気の父を迎えに豊後国(現:大分県臼杵市)から1,200kmの道のりを姉妹がやってきたという二孝女物語の舞台となりました。天武天皇が天智9年(670)から2年ほど留まっていたという由緒あるお寺です。

西金砂神社小祭礼・町田火消行列



イベント

「金砂神社小祭礼」は6年に一度の祭典。東西の金砂神社を出発して3泊4日で常陸太田市馬場町の仮飯まで神幸します。来年度に開催される予定です。

常陸秋そばフェスティバル里山フェア



イベント

市内の人気店や県内のそば打ち名人が一堂に会し、常陸秋そばを使った打ちたてのそばを提供。会場内ではそば打ち体験コーナーやそば打ちの道具の販売など、多彩なイベントが開催されます。

常陸秋そば

独特の香りや風味、甘味に優れていた金砂郷在来種を親として、粒揃いがよく、味がしまり、タンパク質やデンプンを多く含んだ良質のものの選別を繰り返し、「常陸秋そば」という品種が誕生しました。香りがあり、滋味溢れる「常陸秋そば」はそば職人から高い評価を得ています。今でも原産地の金砂郷地区で収穫される常陸秋そばは希少価値が高くなっています。



グルメ

全国のそば職人から高い評価を得ている

凍こんにやく

凍こんにやくは江戸時代から作られてきましたが、昭和30年代後半から生産者が激減し、現在は常陸太田市と大子町で数軒の生産者を残すのみとなっています。藁の上に並べたこんにやくに水をかけては凍らせ、自然解凍という作業を約20日間かけて繰り返すことで、こんにやくの水分が抜けていきます。最後にしっかり乾燥させると、スポンジ状になった凍こんにやくが完成するのです。



お土産

今では貴重な凍こんにやく

高萩市

TAKAHAGI City

■概要／人口: **27,784人**

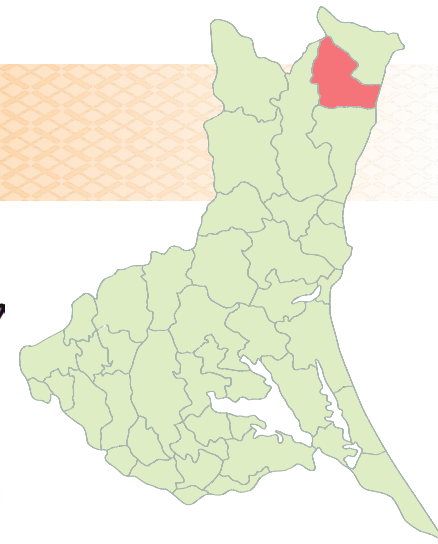
年間観光入込客数: **292,700人**

■由来／常陸国風土記にある多珂国が現在の高萩市の由来になっています。堅破山に萩が生い茂っていたことにも由来するともいわれています。

■市の花／はぎ
木／まつ
鳥／きじ



はぎまる



市の85%を占める山間部に花貫川と関根川が流れ、美しい渓谷を作り出しています。花貫渓谷や名馬里ヶ淵などは、紅葉の時期になると多くの観光客が訪れます。海に見えるダムとして知られる花貫ダムやその周辺の花貫さくら公園、花貫ふるさと自然公園はアウトドアを楽しむ家族連れなどで賑わいをみせます。また、高萩海水浴場、高戸小浜海岸、ささき浜などの観光名所も点在し、海と山の自然が高萩の最大の魅力です。

観光カレンダー

1月1日	元旦神輿渡御
4月上旬～中旬	高萩桜まつり
7月下旬	高萩まつり
11月	花貫渓谷紅葉まつり
11月中旬	高萩市産業祭

花貫渓谷

花貫川が山地の地表を侵食し作り出した花貫渓谷には大小さまざまな滝や淵が連なり、全国でも珍しい海が望める「花貫ダム」から上流にかけて美しい景観が続きます。渓谷内にある長さ約60mの汐見滝吊り橋から眼下を望めば花貫川の清流が流れ、川のせせらぎを聞きながら赤黄に染まる紅葉を楽しむことができます。



スポット

四季折々の渓谷の自然を楽しめる

さくら宇宙公園(高萩桜まつり)

日本初のテレビ衛星中継受信地を記念してつくられた公園。広大な敷地には国立天文台のバラボラアンテナや茨城大学の宇宙電波館があります。また、春には「高萩桜まつり」の会場となり、ソメイヨシノや八重桜が見られます。特に、約300m続く桜並木や桜越しに見る巨大なバラボラアンテナは圧巻です。



スポット

桜ヒバラボラアンテナのコラボ

高戸小浜海岸



スポット

海食崖に囲まれた入り江の美しさで知られる景勝地。青い空と海、常緑の松、白く輝く砂浜のコントラストが見事で、日本の渚・百選にも選ばれています。

穂積家住宅



スポット

江戸時代中期の豪農の住宅で土間や座敷や、美しい日本庭園が見学できます。茅葺き屋根の主屋は茨城県指定有形文化財。秋には花貫渓谷の紅葉にあわせて期間限定レストランがオープンします。

高萩アウトドアフィールド「Hagi Village」

ダム湖から見る県内一大きな堤体と周囲の山々の壮さが体感できるカヌーやボートクルーズ、SUP。花貫渓谷の天然プールを泳いだり、滝壺へ飛び込んだりするシャワーウォークなどのアクティビティの他、ダム敷地内では、テントを設営せずに気軽に宿泊できるグランピングを楽しむことができます。



スポット

茨城県最大の小山ダム

高萩まつり

昭和46年から続いている伝統的なまつり。パレードや各地区の伝統ある神輿や山車の響演が練り歩き、市民が一致団結する高萩市の一大イベント。特に流し踊りでは、子供会・町内会・企業などが参加し、それぞれ連をつくりながら市民ばやしにあわせて踊ります。



イベント

高萩市の伝統的なお祭り

花貫フルーツほおずき



お土産

高萩市大能地区では、寒暖差が大きい土地の利を生かし、一粒一粒大切に育てられている「花貫フルーツほおずき」は一般的な食用ほおずきと比べ上品な香りと爽やかな酸味が特徴です。

高萩真心一魂



お土産

高萩の郷土を代表する花貫川清流と肥沃な大地で育った酒造好適米「美山錦」から生まれた純米吟醸酒。

北茨城市

KITAIBARAKI City

■概要／人口: **41,989人**

年間観光入込客数: **1,333,000人**

■由来／昭和31年、磯原町、大津町、関南村、関本村、平潟村、南中郷村の6町村が合併。当初は茨城市と命名しましたが、同日付で県北部にあることから北茨城市に改称。県庁所在地と誤解を受けないようにと配慮した結果からこの名前となりました。

■市の花／シャクナゲ 木／松
鳥／かもめ 魚／アンコウ



あんちゃん・こうちゃん

当市は、県の最北端に位置し、素晴らしい景観を望む、自然の恵みあふれる地域です。海岸・港町エリアでは、温泉や鉱泉が湧き出し、民宿や旅館が立ち並ぶとともに、五浦海岸独特の美しい景観が点在し、六角堂や茨城県天心記念五浦美術館などの観光名所があります。里山エリアでは、世界かんがい施設遺産に登録された十石堀や満点の星空サイトが有名な花園オートキャンプ場などがあります。北茨城市が発祥の地とされているアンコウ鍋は、鍋グランプリなどで優勝するなど、全国に認められている一品です。

観光カレンダー

1月下旬	全国あんこうサミット
5月2日・3日(5年に1度)	常陸大津の御船祭
8月下旬	北茨城市民夏まつり

六角堂&茨城県天心記念五浦美術館

岡倉天心ゆかりのスポット

明治38年に岡倉天心が自ら設計したもので、「観瀾亭」ともいわれ、朱塗りの外壁と屋根に宝珠を装った六角形の建物です。周辺は五浦海岸と呼ばれ、大五浦・小五浦の一部は、県初となる国の登録記念物に認定されるなど景勝地としても有名です。また、近くには茨城県天心記念五浦美術館があり、岡倉天心や横山大観など五浦ゆかりの人々の作品が鑑賞できます。

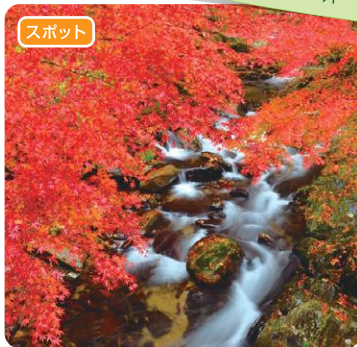


スポット

花園神社&花園渓谷

紅葉の季節のおすすめスポット

征夷大将軍・坂上田村麻呂の創建ともいわれる花園神社。大杉、高野槇の老木が立ち並び、木々の緑に朱塗りの仁王門、拝殿、本殿が映える様は荘厳で、特に石楠花におおわれる春の美しさは格別です。また、カエデやヤマモミジが織りなす紅葉の色艶やかな渓谷風景も必見です。さらに、同エリアで、四季折々のキャンプが楽しめる花園オートキャンプ場も人気です。



スポット

十石堀

世界かんがい施設遺産に登録!!

十石堀は350年以上前の江戸時代前期に築造された延べ約13kmの農業用水路です。現在は約15kmとなり、水源から約2kmの区間は、ほぼ建設当時の姿のまま利用され、周辺地域の水田にはなくてはならない疎水として、維持管理されています。その長年の功績が認められ、世界かんがい施設遺産に登録されました。十石堀のほぼ中央に位置する親水公園から、東に約3km、西に約2kmを水路沿いに歩くことができます。



スポット

北茨城の名湯

絶景!! 湯めぐり

湯量豊富で泉質良好な温泉が各所にあり、それぞれ効能が異なるため、温泉めぐりも楽しめます。また、市内には、太平洋の絶景を眺めながら入浴することができる自慢の宿や日帰り入浴ができる施設も多数あります。



スポット

常陸大津の御船祭(国指定重要無形民俗文化財)

5年に1度の勇壮な祭り

平成29年3月に国の重要無形民俗文化財に指定されたお祭りで、5年に1度、5月2日～3日に行われる大祭です。大津町の佐波波地祇(さわわちぎ)神社から御霊を船に移し、神船となった船を御船歌や囃しにあわせて曳き、陸路を走ります。船底に車輪が無いので、ソロバンと呼ばれる木枠を敷き、船を左右に揺らしながら進みます。大勢の曳き手によって進む船の姿は圧巻です。次回:2024年5月2日～3日開催



イベント

アンコウ鍋(どぶ汁)

どぶ汁発祥の地!本物を是非!!

北茨城市の郷土料理である「アンコウ鍋」は、全国の鍋グランプリで優勝するなど、味・質ともに認められた一品です。また、水を一切使用せず、あん肝をすり潰し、アンコウと野菜の水分のみで作る「どぶ汁」は、北茨城市が発祥の地とされており、濃厚な味わいが特徴です。



グルメ

常陸大宮市

HITACHIOMIYA City

■概要／人口: **41,385人**

年間観光入込客数: **1,362,100人**

■由来／平成16年に、大宮町、山方町、美和村、緒川村、御前山村が合併し、現在の常陸大宮市となりました。「大宮」は、常陸大宮市下町に位置する甲(かぶと)神社の尊称「甲大宮」に由来。

■市の花／ばら 木／さくら
鳥／かわせみ 魚／あゆ



マスコットキャラクター
「ひたまる」

久慈川と那珂川という二つの河川に挟まれるように位置する常陸大宮市は、それぞれの清流と豊かな緑の大地が市域を包み込んでいます。アユ釣りが楽しめる久慈川や那珂川は、サケも遡上します。両河川では、カヌーやキャンプ、バーベキューなどアウトドアを存分に楽しめます。市域の6割を占める山林では、シイタケ栽培や西ノ内和紙のコウゾなどの生産も行われています。また、三太の湯、四季彩館、ささの湯などの温泉・温浴施設も人気。日本最古の組み立て式回り舞台の西塩子の回り舞台も3年ごとに披露されます。

観光カレンダー

4月上旬～中旬	辰ノ口さくら祭り
8月下旬	あゆの里まつり
10月中旬(3年に1度)	西塩子の回り舞台
11月3日	ふるさと祭りおおみやふれあい広場
11月中旬	やまがた宿芋煮会

西ノ内和紙(国選択・県指定無形文化財)

光園公が西ノ内紙と命名?!

地元産高品質の那須楮を原料に、伝統的な手法で生産される本格和紙。平成25年、市所蔵の和紙生産用具が国有形民俗文化財に登録。2軒の工房では、紙漉きや漉き絵体験ができます。水戸藩時代には専売品として藩の財政に大きく貢献。光園公が西ノ内紙と命名したとも言われ、かつては県北山間部で広く生産され、越前奉書や美濃紙とともに高品質紙として名を馳せました。(県伝統工芸品)



スポット

湯の澤鉱泉

150年の歴史を持つ名湯

150年の歴史を持つ名湯。茨城県内唯一の日本秘湯を守る会会員の温泉宿。医者いらずの名湯として多くの人々から湯治の湯として伝えられています。泉質は重曹泉で神経痛や皮膚病、リウマチ性疾患に効能があるとされています。宿泊も可能で、特に料理にはこだわりもあり。里山で過ごすひとときは格別です。



スポット

鷲子山上神社



スポット

特に和紙生産が盛だった茨城・栃木県境に建つ神社。社伝によれば創建は大同2年(807)、祭神は阿波国より勧請した製紙の神天日鷲命。近年パワースポットとして有名。

常陸大宮市歴史民俗資料館 大宮館



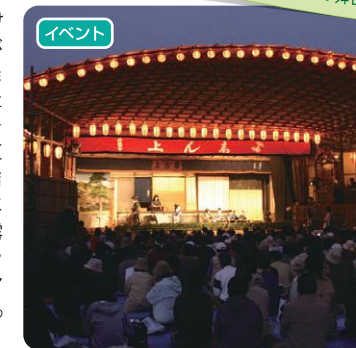
スポット

みどころは豊富な考古資料。なかでも泉坂下遺跡の弥生再葬墓から出土した人面付土器(国重要文化財)は器高が77.7cmで国内最大。坪井上遺跡出土のヒスイ製大珠は国内最多。

西塩子の回り舞台(県指定有形民俗文化財)

日本最古の組み立て式回り舞台

平成3年度実施の調査をきっかけとして、地元住民によって半世紀ぶりに復活した日本最古の組立式農村歌舞伎舞台。屋根材とする大量の真竹の伐り出しから始め、約1ヶ月かけて舞台を組立てる作業は圧巻。公演では、舞台復活を機に結成した西若座や、地元小学生らによる地芝居や歌舞伎舞踊が披露されます。組立作業のほか、衣裳や舞台背景の制作にもボランティアが関わり、地域活性化の核となっています。(3年毎に開催)



イベント

鮎

あゆ処ののぼり旗が目印

鮎漁獲量日本一位・二位を誇った、那珂川と久慈川が流れる常陸大宮市。平成26年に市の魚として鮎を制定。市内では鮎の塩焼きを各所で食べられるほか、あゆ処マップを作成し、鮎料理を楽しめる市内の飲食店を紹介。右側ののぼり旗が目印になっています。また、毎年8月には「あゆの里まつり」を開催。鮎のつかみどりができたり、たくさんイベントで来場者をもてなしています。



グルメ

けんちんうどん(そば)



グルメ

野菜たっぷりのけんちん汁で食べる茨城県の郷土料理です。具だくさんのけんちん汁との相性は抜群で、一度食べるとまた食べたくなるような味わいです。

久慈の山



グルメ

根本酒造は創業以来400年、幾多の時代を超えて磨かれ受け継がれた酒造りの技と心。熟練の杜氏が丹精込めて醸します。[上丸/カミマル]は、茨城県のオリジナル酒造好適米「ひたち錦」を贅沢に使用しており、甘口でさっぱりとした味わいです。

那珂市

NAKA City

■概要／人口：**53,313人**

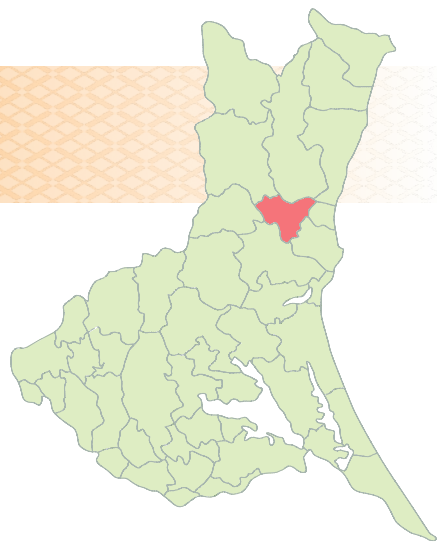
年間観光入込客数：**219,900人**

■由来／いつ頃から「那珂」という地名があったのかは不明ですが、8世紀に書かれた「古事記」では「仲国造」（なかのくにのみやつこ）、「常陸国風土記」では「那賀（那珂）郡」という地名が使用されていました。

■市の花／ひまわり 木／八重桜
鳥／白鳥



ひまわり大使ナカマロちゃん



観光カレンダー

4月中旬～4月下旬	八重桜まつり
4月、6月、10月、12月、2月	ガヤガヤ☆カミスガ
※8月を除く偶数月の第1日曜日	
7月下旬(3年に1度)	額田まつり
8月15日(3年に1度)	菅谷まつり(大助まつり)
8月下旬	ながひまわりフェスティバル
10月又は11月上旬	二十六夜尊

八重桜まつり

「日本さくら名所100選」で八重桜の名所として選ばれた静峰ふるさと公園。12haの広大な園内には約2,000本の八重桜が植えられており、満開時の景色は壮観。毎年行われる「八重桜まつり」では、夕暮れから桜のライトアップが行われ、幻想的な雰囲気を味わうことができます。



スポット

なかひまわりフェスティバル

那珂総合公園を会場に、周辺約4haの畑には約4haの畑には25万本のひまわりが咲き誇り、圧巻の景色が広がります。ひまわり畑の中に造られた巨大迷路や、ステージイベント、夜には花火大会も開催されます。



スポット

那珂市曲がり屋



スポット

文久2年(1862)那珂市戸崎に建てられた農家で、市に現存する最後の曲がり屋です。平成11年9月、一の関ため池親水公園内に移築・復元。

ガヤガヤ☆カミスガ



スポット

水郡線上菅谷駅前の宮の池通りを歩行者天国にして開催するイベント。「カミスガプロジェクト」が主催し、多彩な業種の約60店舗が大集合。軽食や菓子などを販売します。

清水洞の上公園

清水洞の上地区は、豊富な湧き水が流れる池や山林、清水寺、また市指定天然記念物である「清水寺の杉」など豊かな自然が残る地域です。那珂市は、この豊かな自然を保護し、市民の憩いの場を提供することを目的として、森林の間伐や木道、湧水池などの他、来園者のためのトイレや駐車場の整備を行い、平成23年4月に「清水洞の上公園」が誕生しました。



スポット

木内酒造

文政6年(1823)創業の造り酒屋。清酒「菊盛」をはじめ、焼酎、梅酒、ワイン、リキュールの他、世界的に有名な日本のクラフトビール「常陸野ネストビール」を製造しています。敷地内には蔵造りの蕎麦処「な嘉屋」や利き酒ができる店舗を併設。「手造りビール工房」では自分好みのマイビールを造ることができます。



スポット

サンフラワーシード・フロレンティーナ



グルメ

アーモンド風味のスポンジに、ひまわりの種をキャラメルと絡めて焼き上げた「ひまランタン」をトッピング。サクッとした食感が愉しめるケーキです。

常陸銀シャリ餃子



グルメ

餃子の皮には那珂市産の米から作られる米ゲルを練り混ぜ、餡にも地元「ひまランタン」をトッピング。サクッとした食感が愉しめるケーキです。

東海村

TOKAI Village

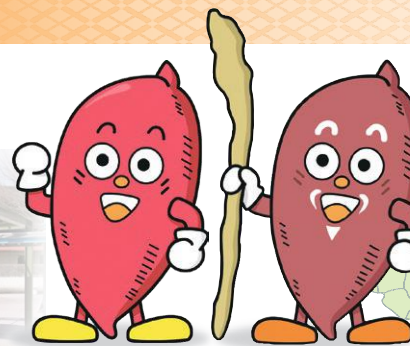
■概要／人口：**38,342人**

年間観光入込客数：**382,800人**

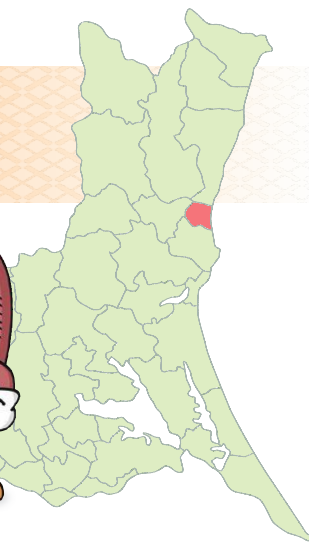
■由来／藤田東湖の「正気歌」にある「孰か能く之を扶持するや、卓立す東海の浜」に由来します。昭和30年の村発足時に新命名されました。

■村の花／スカシユリ

木／黒松
鳥／メジロ



イモビー・いもジ



北に久慈川、東に太平洋を望む東海村は、農業も盛んでサツマイモ、ナシ、ブドウなどの果樹やメロン、スイカなどが特産品としてあげられ、毎年11月には「東海I〜MOのまつり」が開かれ、秋の実りを祝い合います。干しいもの産地としても有名。歴史的には一三詣りで有名な村松山虚空蔵堂があり、周辺の人々の信仰を集めています。水戸八景の「村松晴嵐」の景勝地にも選ばれていて、白い砂浜と青々とした松林が素晴らしいコントラストを演出します。

観光カレンダー

4月上旬～中旬	東海さくらまつり
8月上旬	東海まつり・花火大会
10月中旬	大空マルシェ
11月23日	東海I〜MOのまつり

大神宮

和銅元年(708)の創建と伝えられている歴史的に由緒ある神社です。伊勢神宮の分霊が祀られており、水戸黄門として知られる徳川光圀や斉昭の崇敬が厚かったことでも知られます。神殿を中心に、真砂山の「松」、参道の「竹」、境内の「梅」が見事に調和して神域の荘厳増し、茨城一の宮と尊称される風致を保持しています。



スポット

村松山虚空蔵堂

平安時代の初期に弘法大師によって創建された寺です。伊勢の朝熊虚空蔵尊、会津の柳津虚空蔵尊とともに日本の三体虚空蔵堂に数えられています。厄払い、特に人生で初めて厄年である十三歳にここで参拝すると、知恵と福德がさげられると伝えられています。1月の三が日には約18万人が訪れ、賑わいを見せます。



スポット

石神城址公園



スポット

東海村石神内宿にある公園。昔はお城が建っていましたが今は整備され公園となっています。ここは春になれば桜の花が咲き誇り隠れた絶好の花見スポットとなっています。

真崎古墳群



スポット

7世紀〜8世紀に築造されたとされる古墳群。細浦に面した標高28mほどの台地上に立地する東海村最大の古墳群。遊歩道もあり、森林浴にはぴったりです。

東海まつり・花火大会



イベント

JR東海駅東口前の通りを歩行者天国にして、音楽イベントやパレードが繰り広げられます。夜空を約3,000発の花火が彩り、迫力ある美しい花火を間近で観覧することができます。

東海I〜MOのまつり



イベント

毎年約25,000人の来場者で賑わう「さつまいも」のお祭りです。いも掘り体験や、いも積み競争等、「いも」を体感できるプログラムが盛りだくさんです。

干しいも

茨城県は、干しいもの生産量が全国で1位を誇り、その主な産地は、東海村とひたちなか市になります。11月〜2月の冬場の乾燥時期を利用し作られ、サツマイモの生育に適した水はけの良い砂地を含んだ土壌とともにほしいも作りは発展し、現在全国シェアは9割。男女問わず人気となっています。



お土産

東海村MADEの手土産

「東海村のおいしい魅力をあなたへ。あなたから、あの人へ。」をキーワードに、贈って嬉しい、自分へのご褒美にも最適な商品を選出。東海村・東海村観光協会・東海村商工会の三者連携で作られた地域ブランドです。平成29年3月に第2回の認証式を行い、本村が産地として名高い「ほしいも」や、醸造所を県内に移しリニューアルした「いも焼酎」など12商品が仲間入り！ぜひ東海村生まれの手土産をご賞味下さい。



お土産

大子町

DAIGO Town

■概要／人口：16,679人

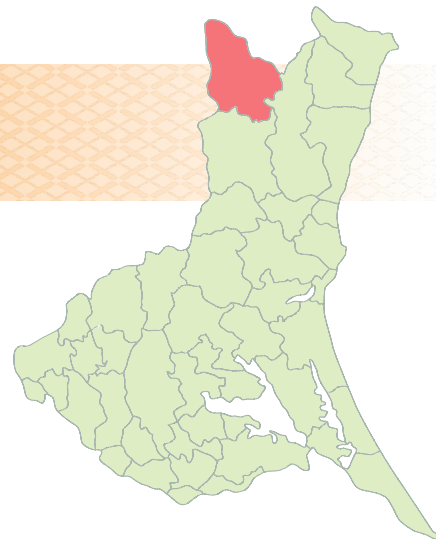
年間観光入込客数：1,040,800人

■由来／大子町の諏訪神社・神宮でもあった田村賢孝が命名。小久慈の湧水が「諸白」と呼ばれる清酒に似て、濃厚で甘味のある汁「醍醐」のようだったから。

■町の花／茶 木／ぶな 鳥／オシドリ



袋田の滝キャラクター たき丸



本県の最北端に位置する大子町は、八溝山系と阿武隈山系の山々に囲まれた山岳地方特有の自然と文化が息づいています。町を代表する袋田の滝は、県内有数の観光スポット。さらに袋田温泉、大子温泉といった温泉郷は古くからの湯治客でにぎわい、県内最高峰の八溝山や男体山などの登山を楽しむ人も多く、自然と温泉を楽しむことができます。また、観光リンゴ園、茶の里公園、大子おやき学校などの施設も充実。奥久慈しゃも、常陸牛、久慈川の鮎、奥久慈ゆば、こんにゃくなどの特産品も多いです。

観光カレンダー

3月上旬(又は2月下旬)	百段階段でひなまつり
5月中旬	常陸国YOSAKOI祭り
8月上旬	鮎のつかみどり大会
8月14日	花火大会と灯籠流し
10月上旬	奥久慈大子祭り

国名勝 袋田の滝

日本三名瀑の一つ

日本三名瀑に数えられ、高さ120m、幅73mの大きさを誇ります。滝の流れが四段に落下することや、四季に一度ずつ訪れてみなければ本当の良さはわからないといわれており、別名「四度の滝」とも呼ばれています。1,500万年ほど昔の海底火山の噴火ででき、空海が護摩修行を行ったともいわれています。また、2015年には国の名勝として指定されました。

スポット



旧上岡小学校

ロケ地でも有名

旧上岡小学校は、3つの建物からなり、第1棟が明治43年に建設。昭和12年には第2棟が、昭和38年には第3棟が建設され、平成13年に閉校。閉校時に、地元の方たちにより上岡小跡地保存の会を立ち上げ管理をしています。現在は国の登録有形文化財に指定されています。また、NHK朝の連続テレビ小説「おひさま」「花子とアン」「エール」のロケ地にもなっています。

スポット



鮎のつかみどり大会

イベント



久慈川と押川の合流点に広大な特設会場を作り、鮎や鱒など約一万匹が放流されます。子供だけでなく大人も童心に帰り、夢中になって魚を追いまわす楽しいイベントです。

アップルパイ

お土産



奥久慈りんごの産地、大子では、りんご園やレストラン、菓子店などがオリジナルティを活かしたアップルパイを焼いています。最近では、アップルパイのイベントも開催され、人気が高まっています。

百段階段でひなまつり

一日限りのひな人形

イベント



中心市街地活性化を目的に、商工会女性部の有志によりアイデアが出され始まった百段階段ひなまつり。3月上旬(又は2月下旬)の日曜日には、十二所神社の参道にある百段階段に約1,000体のひな人形が飾られる一日限りのイベントが開催されます。また、2月上旬から約1ヶ月間町内の店舗等でも多くのひな人形が飾られます。

大子町花火大会と灯籠流し

イベント



80年を超える歴史と伝統を誇る、奥久慈の風物詩。灯籠流しは、大正5年、京都の鴨川の幻想的な風情を見た地元の人が、ぜひ大子地藏尊の水難供養を久慈川でとの思いで始めたものです。

大黒煮豆

お土産



大粒で、光沢のある美しい黒色が特徴の常陸大黒豆をふっくらと煮上げ、甘みを控えた風味豊かな煮豆です。

奥久慈しゃも料理(しゃも弁当)

奥久慈しゃも料理の元祖

グルメ



奥久慈しゃも料理の元祖のお店「玉屋旅館」。昭和60年のつくば科学万博の際に、特産品でお客様をおもてなしたいと「しゃも弁当」を考案しました。また、しゃもの親子丼・しゃも鍋・しゃもの焼き鳥など、様々なしゃも料理が食べられます。

県北地域周遊コース

県北地域
周遊
モデルコース
GUIDE

1 竜神大吊橋 ＜常陸太田市＞



2 常陸秋そば ＜常陸太田市＞



3 袋田の滝 ＜大子町＞



4 六角堂 ＜北茨城市＞



茨城県の豆知識①

『茨城県とは』

◆茨城県の概要

人口／2,858,164人(令和2年4月1日現在の常住人口調査結果)
年間観光入込客数／58,405,500人(平成31年観光客動態調査結果:実人数)
県の花／ばら 木／うめ 鳥／ひばり 魚／ひらめ

◆県名の由来

約1,300年前に書かれた「常陸国風土記」の中に、「朝廷から派遣された黒坂(くろさかの)命(みこと)が、朝廷に従わない豪族を「茨(いばら)」で城を築いて、または、その住みかを「茨」でふさいで滅ぼした、そのことから、この地方を茨城と呼ぶようになった」とあります。

◆茨城県民の日

明治4年に行われた府県の統廃合で、11月13日に初めて「茨城県」という県名が用いられたことにちなみ、明治元年から100年目にあたることを記念して昭和43年に「県民の日を定める条例」により定められました。